

相扶 相爱

そうふ そうあい

伊賀市社会事業協会 会報

2024.12
vol. 44

contents

- 梨ノ木園・第二梨ノ木園 高校生施設見学会
- かしの木ひろば 開園30周年記念
- いもほり体験
- スケッチブック、おやさいクレヨンの寄贈
- 上野点字図書館・梨ノ木園・第二梨ノ木園への寄贈
- 第72回全国盲人福祉施設大会受賞者
- 令和6年度表彰受賞者





盲養護老人ホーム
梨ノ木園 / 特別養護老人ホーム
第二梨ノ木園

高校生施設見学会

～オンラインと現場で学ぶ「ICTを導入した介護の現場」～



9月17日(火) *マイスター・ハイスクール普及促進事業の一環として、三重県内4つの高等学校の生徒約70名へ向けた施設見学会を行ないました。伊賀白鳳高等学校、明野高等学校の生徒は来園、朝明高等学校、みえ夢学園高等学校の生徒は、Zoomを繋げてオンラインで参加しました。これまで、介護実習やコロナ禍での実習代替授業等で伊賀白鳳高等学校や市内の高校生との関わりはありましたが、今回のような大人数での企画は初めての試みでした。

スキャン
眠りSCANとは
マットレスや敷布団の下に
敷くだけで、体動(寝返り、
呼吸、脈拍など)を検出して、
睡眠状態を判定する
非装着・非侵襲のセンサー



機器体験では、タブレットでの介護記録、**眠りSCAN**等のICT機器について実際の介護の実例も交えてお話しさせていただきました。ICT機器から得られる情報がどのような形で介護場面に繋がっていくか等、普段の授業では得られない体験をしていただきました。

眠りSCANの睡眠センサーを実際に体感してもらったり、また介護記録の入力文章を考えてもらう等、さまざまな体験を交えた時間となりました。

ICT機器体験をされた生徒の皆さんからの感想

今回見学してみて、様々な職種の人たちがそれぞれの端末から情報を入れることで、利用者がしっかりと食事や睡眠を取れているかどうかを目で見てわかることを知って、介護では最先端の機械を取り入れて、今までより効率よく一人ひとりの負担を減らしながら働いていることを知ることができました。

タブレットや眠りSCANなど、ICTを活用した介護が多くなっている中で、機器に全てを任せなのではなく、情報を読み取る力を活用し、根拠のある介護をすることが大切だと思いました。



眠りSCANを
体験中!

施設見学では、梨ノ木園、第二梨ノ木園の2施設を回り、各施設の造りの違いなどを実際に目で見て体感していただきました。梨ノ木園は視覚に障害があるご利用者が安心して廊下を歩けるように、手すりを付け、廊下の幅を狭い造りにしているのに対し、第二梨ノ木園は車いすのご利用者が広々移動できるよう幅を広い造りにしてあるなど生徒の皆さんは関心を持って、とても真剣な表情で職員の話を聞いてくれていました。



当施設で勤務している学校卒業生からも、介護に携わる先輩としてお話をさせていただきました。

施設見学をされた生徒の皆さんからの感想

安心して暮らせるためのたくさんの工夫がされていて、素晴らしいなと思いました。街中でも点字ブロックをたくさん見るようになりました。たまに気づかなくて上に立ってしまっている時がありましたが、視覚に障害がある人にとってはとても大切なものだと気づくことができたので、足元をしっかり確認するべきだなと思いました。

点字ブロックや手すり等を利用したり、人が通るとセンサーが反応し音声が流れる機械が設置されていたり、ご利用者が自分の力で生活できるように工夫されていたことが印象に残っています。弱視などの身体状況にある方の潜在能力を活かし、トイレの扉をオレンジ色にし、ご利用者が視覚的に判断できるよう工夫されていることも学ぶことができました。

短時間ではありましたが、この体験が皆さんの夢や目標に繋がる有意義な学びの場となっていれば幸いです。

伊賀FCくノ一三重様& 地域貢献パートナー西山農園様

「みんなのふれあい農園」で いもほり体験!!

長田保育園の園児と梨ノ木園・梨丘園のご利用者がサツマイモを収穫させていただきました。



障害福祉サービス事業所
かしの木ひろば



開園30周年記念行事

6月15日(土)、お祝いの記念行事を開催しました。地域の皆様にも多数ご参加いただき、温かいお祝いの言葉を頂戴しました。

ステージのメインアートには「これからも自由に羽ばたけるように」とイメージし、ご利用者みんなで色とりどりの手形を貼り付けて作った翼を展示しました。



30年を振り返るスライドショーや写真を見たり、社会福祉法人維雅幸育会よりKLG(小池千鶴子さんと水谷展子さんのユニット)をお招きしての記念コンサートを楽しみました。



これからも
かしの木ひろば
皆様にとって必要とされる
居場所となるよう頑張って
いきたいと思います。

ご当地キャラクタースケッチブック・おやさいクレヨン をご寄贈いただきました



北伊勢上野信用金庫様より地域社会への貢献を目的として『ご当地キャラクタースケッチブック』を、富国生命保険相互会社様より持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取り組みの強化として『おやさいクレヨン』を、当法人が運営する保育園13園に寄贈していただきました。

ロート製薬株式会社「かるがも基金」様 からご寄付をいただきました

上野点字図書館では、点訳資料・音訳資料・*テキストディジー、それぞれの製作に必要なパソコン用ソフトと、音声を録音するためのUSBコンデンサーマイクをいただきました。これらを活用し、誰もが自分に合った方法で読書できるよう、より一層、読書環境の整備に努めてまいります。



*テキストデータによる図書。文字サイズや色の変更、合成音声による読み上げ機能などがある

盲養護老人ホーム梨ノ木園では、ご利用者の「入浴日以外の日にも汗を流したい」というご要望のもと、ボディハグシャワーを取り付けさせていただきました。全身を包むようにお湯が散水され、視覚に障害があるご利用者がお一人で安心してシャワーを浴びていただけるようになりました。

特別養護老人ホーム第二梨ノ木園では、眠りSCAN7台と移乗サポートロボットHugを設置させていただきました。眠りSCANは身体になにも装着せずともご利用者の眠り状態がリアルタイムで把握できるため、ご利用者の負担を軽減し、お一人お一人に合わせたサポートを実施することができます。また移乗サポートロボットHugは、脚の力を使いつつ立ち上がりをサポートするため、運動のハードルを下げ、日中の活動量増加につながっています。



ボディハグシャワー



眠りSCAN



移乗サポートロボットHug

いずれもご利用者の質の高い生活のために欠かせないものとなりました。健康増進を期待しこれからもさまざまな場面で活用させていただきます。このたびは、誠にありがとうございました。

受賞おめでとうございます

日本盲人社会福祉施設協議会主催の第72回全国盲人福祉施設大会において、音訳ボランティアの平岡雪代さんと村井文子さんが奉仕活動者表彰を、また、毎年、事業に必要な物品をご寄贈くださっているロート製薬株式会社「かるがも基金」様が援護功労表彰を受賞されました。心からお祝いを申し上げますとともに、多年のご奉仕、ご支援に深く感謝申し上げます。



かるがも基金
ロート製薬
援護功労表彰

令和6年度 表彰受賞者



●全国保育協議会 会長表彰

いなこ保育園・園長 山本 幸枝

●全国社会福祉協議会 会長表彰

身体障害者支援施設梨丘園・園長 野山 貴代



社会福祉法人

伊賀市社会事業協会

〒518-0032

三重県伊賀市朝屋739番地の2

TEL:0595-21-5545

FAX:0595-23-6670

<https://www.iga-sjk.or.jp>



当法人の施設

【高齢者福祉施設】

- 盲養護老人ホーム 梨ノ木園
- 特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園
- 在宅介護支援センター なしのき
- デイサービスセンター なしのき

【障害者福祉施設】

- 身体障害者支援施設 梨丘園
- 障害福祉サービス事業所 かしの木ひろば
- 上野点字図書館
- 伊賀市盲人ホーム
- 相談支援事業所 すきっぷ

【医療施設】

- 梨ノ木診療所

【児童福祉施設】

- | | |
|------------------------|------------|
| ■ 曙保育園 | ■ 睦保育園 |
| ■ 三田保育園 | ■ 中瀬城東保育園 |
| ■ 友生保育園 | ■ 花之木保育園 |
| ■ 長田保育園 | ■ みどり保育園 |
| ■ ひかり保育園 | ■ みどり第二保育園 |
| ■ 府中保育園 | ■ ゆめが丘保育園 |
| ■ いなこ保育園 | |
| ■ 心身障害児療育保育施設 かしのみ園 | |
| ■ 日中一時支援事業所 ベルデ | |
| ■ 放課後等デイサービス事業所 ベルデ ドゥ | |
| ■ 児童クラブ フレンズうえの | |
| ■ 児童クラブ 第2フレンズうえの | |
| ■ 児童クラブ キッズうえの | |
| ■ 児童クラブ ふたば | |
| ■ 児童クラブ 成和東 | |
| ■ 児童クラブ 成和西 | |
| ■ 児童クラブ ウイングうえの | |
| ■ 児童クラブ ふえるまーた | |